會社側は豫想もせざる罷業突發に對し直ちに他行中の内田常務取締役に狀況を通知し歸福方を要求請すると共に近在の福岡バス、九州鐵道バス、筑前參宮鐵道バス、白井バス等各社より代用車として十數臺のバスを借入更にハイヤ三五臺と電車數臺(常務員監督、操車係にて運轉)を以て僅かに旅客の運輸に努めたり。

一方從業員の家族に對し就業方を勸告する等對策に腐心せり

一四 解決狀況

双方態度强硬なる爲事態を慮つた福岡縣特高課並各所轄警察署に在りては双方の會見を慫慂斡旋の結果漸く午后十時四十五分會社側は内田常務取締役、富田營業課長、宮田總務課長小林秘書、從業員側は西野鐵夫外十五名か會見するに至り要求條項二十二項目に付逐條的折衝をなしたるが此の間双方の